

やわらかな早春の日ざしが心地よく感じられる季節になりました。春になって気持ちが明るくなるのと同時に、花粉症に悩まされている人も多いのではないのでしょうか。先週は3年生が卒業し、1、2年生の皆さんは、寂しい気持ちと新たに頑張ろうという気持ちが入り交じり、複雑な思いではないのでしょうか。さて、この3月は新年度の準備期間になります。進級に向けて、心も身体も整えて、新年度よいスタートを切ってほしいと思います。

かぜ症状の欠席が多くなっています！

今、本校では1年生を中心に、かぜ症状で欠席する人が多くなっています。中には新型コロナに罹患している人もおり、今後、流行しないか心配している状況です。皆さんは引き続き、こまめな手洗いと教室の換気に配慮し、十分な睡眠と栄養を摂ってください。また、少しでも体調が悪い時は、決して無理せずに保健室に来てくださいね。皆で無事修了式を迎えましょう。

1年間の保健室の様子

保健室来室人数は？
616人

病気の人は？
299人

けがをした人は？
202人

相談などで来室した人は？
115人



一番来室の多かった月は？
6月

一番来室の多かった症状は？
頭痛

一番来室の多かったけがは？
打撲

保護者の皆様へお願い

- * 現在1年生を中心に、かぜ症状（頭痛、発熱、咳、倦怠感など）で欠席するお子さんが多くなっており、新型コロナに罹患しているお子さんもおります。また、町内の小学校では、インフルエンザで学級閉鎖になっている状況です。お子さんの体調が悪い場合は、なるべく病院を受診していただきますようお願いいたします。
- * コロナ禍と言われるようになってから、全国的に歯科医への受診率が悪くなっております。本校でも、むし歯の治療等がまだ済んでいないお子さんがいますので、早めに歯科医を受診するようお願いいたします。

耳に優しい言葉を話そう

3月3日は「耳の日」です。日頃、あまり意識していない「耳」ですが、私たちが生活する上でとても大切な役割をしています。なぜなら、人は耳から聞こえてくる音や言葉で、様々な情報を得たり、コミュニケーションをとったりします。その聞こえてくる言葉が「穏やかな優しい言葉」なのか「とげとげしい言葉」なのかで、気持ちや行動は大きく変わってしまいます。

言葉は「心」と深く関わっていて、穏やかな優しい気持ちのときは言葉遣いも優しくなりますが、疲れていたりイライラしたりしていると、とげとげしい言い方になってしまいます。つまり自分の感情をコントロールできないと、相手を言葉で傷つけてしまうのです。

皆さんの中にも、言葉遣いが悪くて友達を不愉快にさせてしまったり、傷つけてしまうなど、トラブルの原因になった人はいませんか？また、自分は傷つけるつもりじゃなかったのに傷つけてしまったり怒らせてしまったり、そういう経験はありませんか？

今は会話だけではなく、LINE やインスタなどで友達とコミュニケーションをとることも多いと思います。相手の表情や態度が見えない分、書き込む言葉には十分注意しましょう。

言葉は、その人の人柄や心の様子がにじみでてきます。ぜひ、耳に優しい言葉を話せる人になりましょうね。

動画の中の自分の声、どうして違って聞こえるの？

動画に映る自分が話している声を聞いて、「これが自分の声？」とびっくりしたことはありませんか？実は、周りの人に聞こえているあなたの声は、その「動画の声」のほうなのです。

なぜかという、声の伝わり方には2通りあるためです。



① 空気から伝わる

声が口から出た時に空気が震え、その振動が鼓膜に伝わって聞こえる。

② 骨から伝わる

声を出す時に声帯が震え、その振動が頭蓋骨を伝わって聞こえる。

周りの人には①の音だけが聞こえますが、自分には①と②の両方が聞こえます。だから、自分だけ違って聞こえるのです。

耳は実は耳を守るイヤツ

耳の中にある白っぽくてカサカサ、ネバネバしたもの。“耳くそ”と悪モノのように呼んでいる人もいるかもしれません。“耳くそ”の正しい名前は「耳あか」。耳の中の古い皮膚がはがれて、脂やホコリと混ざったもの。そう聞くとなんだか汚そうですが、耳あかにはいろいろな役割があります。

- 耳の中（外耳道という細い道）が傷つかないようにする
- 耳の中で細菌が繁殖するのを防ぐ
- 虫が入ってこないようにする



耳あかは、みなさんの耳を守ってくれているのです。だから耳せうじをするときも、無理に全部とらなくても大丈夫ですよ。

